

令和4年度 第2回愛西市総合教育会議 会議録（概要）

会議名称	令和4年度 第2回愛西市総合教育会議	
開催日時	令和4年11月18日（金）午後1時55分から午後2時40分まで	
開催場所	愛西市役所 南館1階 会議室1-3	
議長名	日永貴章	
出席者	別紙のとおり	
欠席者	0人	
公開・非公開	公開	
傍聴人の数	3人	
議題	(1) 第3次愛西市教育大綱（素案）について (2) その他	
会議経過	別紙のとおり	
会議資料	次第 資料番号1 第3次愛西市教育大綱（素案） 愛西市教育委員会からのお知らせ	
会議録の確定		
確定年月日	署 名	
令和4年12月23日	署名者	
	愛西市長	日永 貴章
	愛西市教育委員会	杉方 南衣

1. 愛西市総合教育会議設置要綱第3条に基づく出席者

役 職	氏 名	備 考
市 長	日 永 貴 章	
教 育 長	平 尾 理	
教 育 委 員 会 委 員	平 野 英 治	職務代理者
〃	杉 方 南 衣	
〃	水 谷 朋 和	
〃	大 竹 節 雄	
〃	難 波 知 里	

2. 出席した職員

役 職	氏 名	備 考
副 市 長	鈴 木 睦	
(市長部局事務局)		
企 画 政 策 部 長	西 川 稔	
企 画 政 策 部 参 事	伊 藤 孝 一	
企 画 政 策 部 経 営 企 画 課 長	井 戸 田 悦 孝	
企 画 政 策 部 経 営 企 画 課	渡 邊 典 夫	
〃	東 山 祐 佳	
〃	山 口 遼	
(教育委員会事務局)		
教 育 部 長	三 輪 進 一 郎	
教 育 部 次 長	小 島 洋 志	
教 育 部 学 校 教 育 課 長	猪 飼 政 和	
教 育 部 生 涯 学 習 課 長	石 田 泰 弘	
教 育 部 ス ポ ー ツ 課 長	伊 藤 義 幸	
教 育 部 学 校 教 育 課 主 幹	吉 田 光 男	
教 育 部 学 校 教 育 課	坪 井 靖 史	
〃	重 村 みいみ	

会議経過

発言者	内 容
事務局	只今から「令和4年度第2回愛西市総合教育会議」を始めさせていただきます。
	・・・開会・・・
市長	・・・あいさつ・・・
事務局	・・・資料確認・・・
市長	(1)「第3次愛西市教育大綱(素案)について」を議題とし、事務局より説明をお願いしたい。
事務局	・・・「第3次愛西市教育大綱(素案)について」説明・・・
教育長	この教育大綱は、愛西市のこれからの教育に対して非常に大きな位置を占めている。特に、理念に掲げさせていただいた絆づくりについては、少子化になり、コロナの影響もあり、人と人との関わりが極めて少なく細くなっているため、意図的に文言を入れさせていただいている。教育委員会としても、この理念を採用いただき、できるだけ隅々まで理念が行き渡るようにしていきたい。
副市長	私から言葉の意味合いについて2点ほど述べたい。 3ページの方針2について、「子どもたち同士が認め合い、協力し合い」という文言の繋がりとして、いきなり「切磋琢磨」という言葉が出てくるのは、少し違和感がある。もう少し分かりやすい言葉にした方が違和感はないと思う。 また、4ページの方針4に、「祭礼」という言葉が出てくるが、政教分離の観点から、「礼」はどうかと思う。ここをもう少し分かりやすくして、「祭り」にしてはどうかと思う。
事務局	「切磋琢磨」については、「認め合い、協力し合い」の文脈では唐突感があるため、「互いに高め合うことのできる」というような表現に変更させていただければと思う。
事務局	方針4の「祭礼」について、辞書等では、「祭礼」は「祭り」とほぼ同義的な意味で使用されている。相手方に伝わりやすいという言葉であれば、「祭り」という言葉を採用しても良いのではないかと考える。
委員	「切磋琢磨」については、「子どもたち同士が」という言葉から始まる文脈からいくと唐突感が確かにある。私は「切磋琢磨」というのは、理念の中の「しなやかな人を育む」ということを達成するのにどうしても必要な要素の一つだ

	<p>ろうと思っている。その気持ちは理解していただきたいと思うが、表現としてはあまりにも唐突であるため、その意味合いを残しつつ、最終目標である「高め合う」、「学び合う」という表現への変更については、妥当であると思っている。</p>
市長	<p>3ページの「切磋琢磨」という表現については、「互いに高め合うことのできる」という表現に修正していくということで、事務局で調整いただきたい。</p> <p>続いて、4ページの「祭礼」の部分を、「祭り」という言葉に変えるのはどうかということであるが、いかがか。</p>
委員	<p>「祭礼」、「祭り」とも同じ意味を含んでいるということであるため、分かりやすい表現である「祭り」に変更するということが良いと思う。</p>
市長	<p>この部分を少し分かりやすい表現にするということで一度検討いただきたい。</p>
教育長	<p>2ページの「6 基本方針」の方針1について、一番下の丸印の部分の「教育支援制度の充実」については、教育大綱として異質感がある。どちらかという子育て支援の意味合いが強いと感じる。</p>
委員	<p>教育分野の中で、「教育費支援制度の充実」というのは、異質感があるように思われるが、あえてこの意味を考えてみたい。</p> <p>私は補助金をいただいて補助事業を進める責任者の仕事をしている。農業分野の話でも、国からSDGsの考え方を反映した取組を考えていただきたいという話があった。そういった取組をこれから心掛けていかなければならないし、あえて発信していくことも大切なことになってくるのではないかと思う。SDGsの考え方として、教育大綱に記すのもありではないかと考える。</p>
事務局	<p>国が策定している第4次教育振興基本計画の資料では、「経済的状況に拠らず、学びの機会を確保するための支援」という項目も掲げられている。方針1の2つ目の項目は、経済的な部分ではない支援、3つ目の項目は、経済的な支援かと思うが、2つを1つにして、包括的な内容で記載する方が良いのではないか。2つ目の項目に3つ目の経済的な支援も含めた形で、記載させていただければと思っている。2つ目の部分は、「文化や言語の相違、障害の有無、経済的な困窮などにかかわらず、全ての子どもたちがそれぞれの個性や能力に応じた教育が受けられるよう、適切な支援を行います。」に変更させていただければと思う。</p>
委員	<p>「経済的な困窮」が3つ目の項目に単独で取り上げられた形よりは、2つ目にまとめて並べていただくことで、経済的な問題が特別感なく、他のテーマと同様に掲げられるため、その表現の方が適切であると思う。</p>

市長	第3次愛西市教育大綱（素案）については、皆さんのご意見をいただき、事務局の方で調整していただいた後、各委員の皆様方に確認していただきたい。続いて、議題（2）「その他」に移る。事務局より説明をお願いしたい。
事務局	・・・第3次愛西市教育大綱に関するパブリックコメントの実施について説明・・・
市長	今後、手続きを経て、パブリックコメントを実施させていただく。
事務局	・・・「愛西市教育委員会からのお知らせ」の資料について説明・・・
委員	現在、地区協議会で検討を進めていただき、児童・生徒数を適正化することで、より良い教育環境づくりをすることを目指しているが、より良い教育環境を実感するのは子どもたちかと思う。学校統合に向けて、新しい学校づくりに向けて、生徒にどのような指導が必要なのか、どうすればソフトランディングできるのかということ併せて検討していくことが大切である。
教育長	ソフトランディングはしなければならないと思う。数合わせの論理ではなく、それまでに子どもたちの事前交流や学級編制など、様々な対策も必要である。今、委員さんがおっしゃったことは我々も真摯に捉えていかなければならないと思っている。 もう一点は、今後、統廃合に向けて進めていく中で、教育委員会だけではできないことが多々考えられる。これまでも市長部局も交え、作業部会を設置していただいていたが、環境も変わってきたということで、今までの作業部会を一旦解散させていただき、新たに適正化、老朽化、地域における学校の存在意義についての新たなプロジェクトチームの立ち上げをお願いしたい。市民の皆様方の不安や要望に耳を傾けなければならないというのが市のあり方であるため、具体的な対応策を検討するためにも、できる限り早くプロジェクトチームを立ち上げて、様々な問題を改めて解消していくということをぜひお願いしたい。
副市長	新たなプロジェクトチームの立ち上げを早急に検討していきたい。
市長	教育委員会としてどのような課題があるのかを整理して、市長部局は何を検討していかなければならないのか指示をしていただかないと、プロジェクトを開催してもなかなか議論がまとまっていけないため、事務局の方でもしっかりと整理して投げかけをしていただきたい。
委員	立田地区は適正化と校舎老朽化問題に関わる地区である。それに加え、地理的に南北に細長く、特に児童・生徒の通学において大きな負担となることは明

市長 事務局	<p>らかである。学区の線引きを緩和することなどについて、様々な考え方が出てくると思われる。そのような時に、どちらにせよ立田地区がうまくまとまれるようなプランにしていかなければいけないため、ご支援やご指導をいただきたい。</p> <p>以上で本日の会議を終了とさせていただきます。</p> <p>・・・閉会・・・</p>
-----------	--